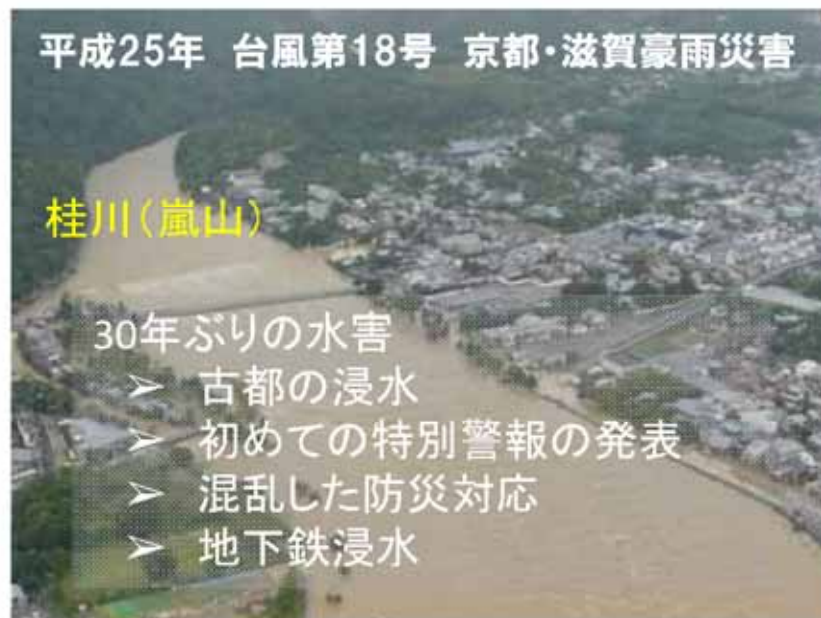


# 太田川水防災タイムラインについて

---

令和4年 6月13日

災害が激甚化し、これまでに経験したことのないような被害が発生  
首長も防災担当者も多くは初めての経験であり、災害への想像力を持つことが難しい。  
大規模災害への対応は、用意周到な備えと臨機応変の対応が必要。



水防法改正 (H29.5公布、H29.6施行) により、県管理河川でも「減災対策協議会」の設置が制度化。減災対策協議会ではタイムライン等を作成し、各構成員の防災計画に位置付けが必要。

## 逃げ遅れゼロの実現

### 大規模氾濫減災協議会制度の創設

- 国及び都道府県知事は、水防法に基づき指定した洪水予報河川・水位周知河川について、協議会を組織（国協議会は必置、都道府県協議会は任意設置）。
- 「水害対応タイムライン」の作成・点検、ICT技術を活用した災害情報の共有強化等について協議。協議結果には尊重義務。構成員は各々の防災計画等へ位置づけ。

#### <協議会のイメージ>



#### <災害対応のスケジュール表“水害対応タイムライン”>

	国土交通省	交通サービス	市町村	住民
台風発生 台風上陸の可能性	台風上陸 3日前 ○台風予報 ○台風に関する記者会見	体制の 早期構築 運行停止の可能性を 早めに周知	広域避難の可能性を 早めに周知	
災害発生 の危険性	台風上陸 1日前 ○台風に関する記者会見 (特別警報発表の可能性) ○大雨・洪水等警報 ○はん濫警戒情報	○リゾンの派遣 ○所管施設の点検	○広域避難体制の 確認・周知	○防災用品の準備 早期に 広域避難を開始
台風接近	台風上陸 12時間前 ○はん濫危険情報	○市町村長へ事態切迫 状況の伝達	○運行停止 ○施設保全・待避終了	○広域避難勧告・指示 ○広域避難の開始 ○広域避難者の誘導・ 受入 台風上陸前に 避難を完了
台風上陸	08時間前 ○はん濫発生情報	○TEC-FORCE活動 (道路啓蒙等) ○被害状況の把握 ○緊急輸送路の確保	○被害状況の把握 ○施設点検 ○運行見通しの 公表	○屋内安全確保 早期復旧・再開が可能 となるように運行停止 ○支援の要請

## タイムラインの定義

- ・タイムラインは、災害が発生することを前提として災害対応に従事する関係者が、「いつ」、「誰が」、「何をするか」を時間軸に沿って整理し、関係者間で予め合意して文書化したもの

### 太田川水防災タイムラインの担うべき役割

#### 【適切な防災行動】

- ・防災関係機関の責任の明確化
  - 先を見越した早めの行動が可能となる
  - 不測の事態の対応に専念できる
- ・防災行動の抜け、漏れ、落ちの防止
  - 防災行動のチェックリストとして活用

#### 【防災関係機関との関係構築】

- ・防災関係機関同士で顔の見える関係を構築
- 【災害対応の検証・改善】
- ・災害対応のふりかえり、改善の容易な実施

## 逃げ遅れゼロ・社会経済被害の最小化

### 人的被害の回避

- ・早期の避難勧告等の発令、安全な避難場所への誘導、地下空間からの早期脱出等、水害・土砂災害による人的被害の回避が可能

### 要配慮者の支援

- ・関係機関が連携することにより、要配慮者の安全な場所への移送や養護、発災後のケアが可能

### 情報伝達体制の強化

- ・マスコミ等と連携することにより、様々なメディアで避難情報等を伝達することが可能

### ライフラインの早期復旧

- ・電気、ガス、水道、通信等の施設を保全することにより、ライフライン機能の早期復旧が可能

### 交通網の途絶の回避

- ・運行停止や通行止めの判断、利用者の避難誘導、車両施設の保全等を行うことにより、人的被害、致命的な交通網の途絶を回避することが可能

◆ **逃げ遅れ**【立ち退き避難が必要なエリアからの避難が遅れ孤立した状態】をゼロとすることが可能

◆ **社会経済被害**【大規模水害による社会経済被害を軽減し、早期に再開できる状態】を最小にすることが可能



## < 太田川の特徴 >

・百万都市 広島を貫流する大河川

・上・中流域には渓谷沿いに集落が点在

・下流域には人口が集積したデルタ域

洪水と内水・高潮・土砂災害に対して脆弱な地域特性をもつ

## 多機関連携型タイムラインの策定

従来の「避難勧告に着目したタイムライン」から裾野を広げ、多方面で連携

目指す目標・連携イメージ

国土交通省

広島市  
安芸太田町

マスコミ

広島県

公共交通機関  
市民団体等

相互に連携して行動計画を作成

各機関の災害対応の円滑化

逃げ遅れゼロ  
社会経済被害の最小化

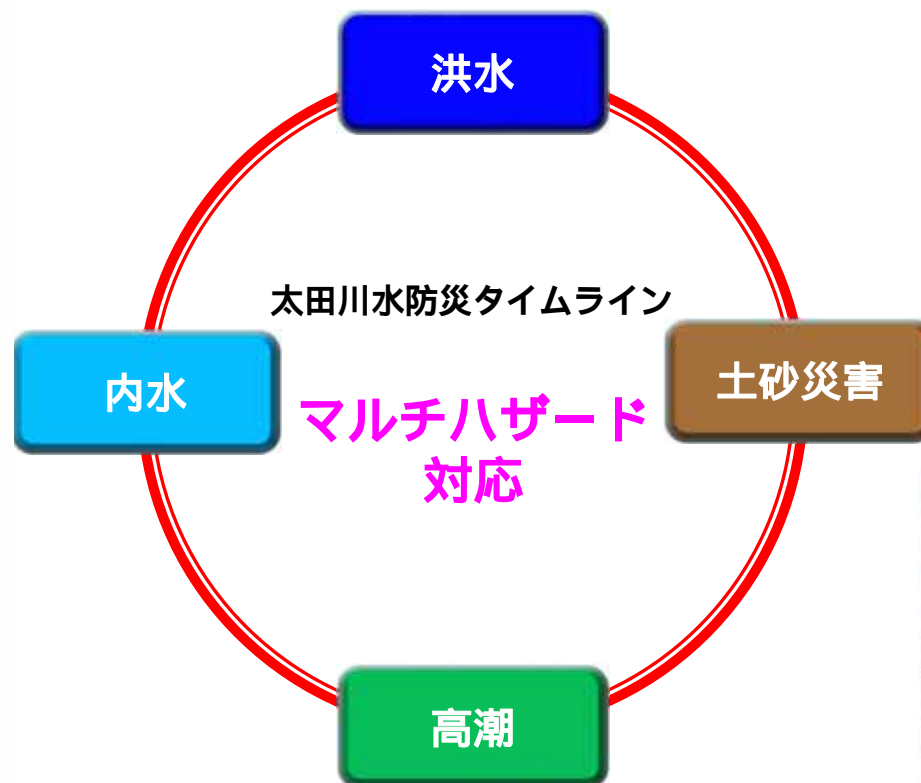
- 太田川水防災タイムラインは、『マルチハザード対応』として検討。
- **洪水と内水** (計画規模)、**高潮**ならびに**土砂災害**を対象に、現状の各機関の防災行動計画を作成。
- 平成30年度に広島市と安芸太田町で、「試行版」が完成し、以降、運用を継続。



平成17年9月洪水時の様子  
(安芸大橋下流左岸)



平成17年9月洪水時の様子  
(太田川61.7k 堂見橋下流右岸)



平成16年高潮による浸水状況  
(広島市南区出島付近)

- 太田川水防災タイムラインにおいては、「1. 準備」、「2. 警戒」、「3. 早期避難」、「4. 避難」、「5. 応急対応」の5段階のステージを設定。
- 各段階(ステージ)に移行するためのトリガーは、次のとおり設定。

## 【広島市版】

ステージ (目標)	避難情報の発令	トリガー		
		洪水・内水	高潮	土砂災害
ステージ0 (平時)				
ステージ1 (準備)		太田川流域が台風の3日予報円に入る	太田川流域が台風の3日予報円に入る	太田川流域が台風の3日予報円に入る
ステージ2 (警戒)		洪水警報の発表	高潮注意報の発表	大雨警報(土砂災害)の発表
ステージ3 (早期避難)	高齢者等避難	避難判断水位到達	高潮警報の発表 予測潮位 TP2.9m未満	土砂災害危険度情報(3時間前)の発表
ステージ4 (避難)	避難指示	氾濫危険水位到達 温井ダム異常洪水時防災操作移行3時間前通知	高潮警報の発表 予測潮位 TP2.9m以上	土砂災害警戒情報の発表
ステージ5 (応急対応)	緊急安全確保	危険水位到達 氾濫発生 温井ダム異常洪水時防災操作移行1時間前通知	高潮特別警報の発表 高潮氾濫発生	大雨特別警報の発表 土砂災害発生

## 【安芸太田町版】

ステージ (目標)	避難情報の発令	トリガー	
		洪水・内水	土砂災害
ステージ0 (平時)			
ステージ1 (準備)		太田川流域が台風の3日予報円に入る	太田川流域が台風の3日予報円に入る
ステージ2 (警戒)		洪水注意報の発表	大雨注意報の発表
ステージ3 (早期避難)	高齢者等避難	避難判断水位到達	土砂災害危険度情報(2時間前)の発表
ステージ4 (避難)	避難指示	氾濫危険水位到達 温井ダム異常洪水時防災操作移行3時間前通知 中電ダム放流通知	土砂災害警戒情報の発表
ステージ5 (応急対応)	緊急安全確保	危険水位到達 氾濫発生 温井ダム異常洪水時防災操作移行1時間前通知	大雨特別警報の発表 土砂災害発生





## ・トータルステージ及びハザード毎のステージの実施例

トータルステージの設定は、ハザード毎のステージが異なる場合において最も危険なステージを適用し、詳細表の対象項目欄「共通」に対応する行動項目を実施する。

**ハザード毎ステージ**

洪水・内水	: ステージ2
高潮	: ステージ2
土砂災害	: ステージ4 ← <b>最も危険なステージ</b>

トータルステージ: ステージ4

詳細表 対象災害(ハザード)毎の実施するステージ

- ・「共通」はステージ4の項目を実施
- ・「洪水・内水」はステージ2の項目を実施
- ・「高潮」はステージ2の項目を実施
- ・「土砂災害」はステージ4の項目を実施

## 1. タイムラインの立ち上げ

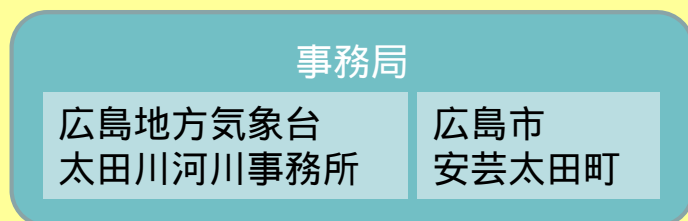
台風等の発生を確認後、広島地方気象台、太田川河川事務所、広島市、安芸太田町で、電話やTV会議でTLの立ち上げについて協議。



TLの立ち上げについて、市町あるいは事務局から、ミーリングリストにて関係機関へ連絡。  
タイムラインの運用を開始。

## 2. タイムラインステージの移行

気象情報や河川水位が各ステージのトリガーになった場合、ステージの移行をミーリングリストにて関係機関へ連絡。



ミーリングリスト →

検討会構成員

タイムラインの防災  
行動を実施

## 3. 関係機関の防災行動の共有について

- ・タイムラインが運用された場合は、実施した行動を記録。(様式は任意)
- ・出水期後、運用のふりかえり等で各機関の行動を共有するとともに、タイムラインの改善点等について議論。